



2013年  
5月10日  
NO.361

九州旅客鉄道労働組合  
福岡市博多区博多駅前2丁目3-23  
TEL 092-472-7950(代)  
URL http://www.jr-krwu.org  
発行人/徳田哲也 編集人/北村公次

# 乗務員職場の諸課題について協議

## 総対話集会での意見を会社に訴える

本部は4月5日、乗務員職場の諸課題に関する解明要求に対する専門協議会を行い、アルコール検査の変更や聴力に係わる医学適正検査基準の見直しについて協議した。

第二次総対話集会での組合員からの意見を踏まえ、早急に改善すべき課題(①アルコールのみに反応する検知器への変更、②アルコール検査の再測定で「黄」・「赤」が表示された場合の適切な取り扱い、③聴力に係わる医学適正検査基準の見直し)について、3月19日に申15号で会社に申し入れていた。

「黄」・「赤」が表示された場合、真水でうがいをして約5分後に再測定し、基準値(0.1mg/l)以上の数値が検知されれば「不参」(ただし、その後の調査で飲酒に起因するものでないと判断した場合は「不参」を取消)、基準値未満の数値が検知されても、前日に飲酒の事実があった場合は待機となっている(飲酒の事実がなければ所定乗務)。

しかし、このような取り扱いが徹底されておらず、結果として一部の職場では社員と管理者との信頼関係に亀裂が生じている実態が明らかになっており、会社に対してこのことを指摘するとともに、アルコール検知器使用方フローの再徹底を求めた。

「聴力検査基準の見直しについては、専門家等による医学的・科学的な検証が継続」

J R九州労組はこの間、交運労協やJ R連合に対して、聴力に係わる医学適正検査基準の見直しに向けた取り組みを要請するとともに、会社に対しても検査基準の見直しを求めてきた。

その結果、昨年8月に行った専門協議会で会社から「聴力に係わる医学適正検査の今後のあり方については、現在勉強中である」との回答が示され、動力車操縦者運転免許に関する省令で定める基準(両耳とも5メートル以上の距離でさやく言葉が明らかに聴取できること)に対して、現在の測定方法及び基準値の見直しが可能か否かについて、専門家等による医学的・科学的な検証が行われていることが明らかになったところである。

今回、検証内容及び今後の見直しについて明らかにするよう求めたが、会社は「専門家等による医学的・科学的な検証が行われているものの、それ以外については現時点で明らかにできるものはない」と答えるに止まった。

併せて、聴力に係わる医学適正検査時の環境改善についても主張し、会社から

正確な検査が行える環境づくりに向けて、取り組んでいく考えが示された。

本部は引き続き、現場で奮闘する組合員の意見を重視するとともに、安全確保

や乗務員の労働条件改善に資するこれらの課題解決に向けて、取り組みを強化することになっている。

### ◎ アルコール検知器の認識に差

第二次総対話集会でも多くの意見が出されたアルコールのみに反応する検知器への変更について、組合は、昨年8月に導入した新機種が、アルコール以外の多くの物質に反応することで、乗務員に対して過度なストレスを与えている実態や、アルコール検査において、職場での信頼関係を損ないかねない事象が発生していることを指摘。本部が独自に購入した機種(電気化学式センサー)で検証した結果、会社が使用している機種(半導体式センサー)と比較して、アルコール以外の物質に反応することが極めて少なかつたことなども主張し、安全確保や職場内コミュニケーションの観点から、検知方法が異なる機種への変更を強く求めた。

これに対して会社は「アルコール検知器については、部品等の生産中止により故障時等の対応が困難な状況であることから同一メーカーの新機種を導入したものであり、特に問題はない」と主張。そのうえで「1日あたり約800人の乗務員に対してアルコール検査を行っているが、ほとんどの乗務員が再測定を受けることなく乗務しており、アルコール検知器自体に問題があるとは考えていない」として、検査前にメーカーの取扱説明書に明記されている物質等の摂取を控えれば、基本的に反応することはないとの認識を示した。

会社は「この間、アルコール検知器を使用する全箇所に対し、各種会議や職場巡回等を通じて、アルコール検知器使用方フローの徹底に向けた指導を行ってきた。今後も継続して指導を行っていく」として、アルコール検知器使用方フローの徹底に向けて、引き続き取り組んでいく考えを示した。

◎ 聴力検査基準の見直しについては、専門家等による医学的・科学的な検証が継続

J R九州労組はこの間、交運労協やJ R連合に対して、聴力に係わる医学適正検査基準の見直しに向けた取り組みを要請するとともに、会社に対しても検査基準の見直しを求めてきた。

その結果、昨年8月に行った専門協議会で会社から「聴力に係わる医学適正検査の今後のあり方については、現在勉強中である」との回答が示され、動力車操縦者運転免許に関する省令で定める基準(両耳とも5メートル以上の距離でさやく言葉が明らかに聴取できること)に対して、現在の測定方法及び基準値の見直しが可能か否かについて、専門家等による医学的・科学的な検証が行われていることが明らかになったところである。

今回、検証内容及び今後の見直しについて明らかにするよう求めたが、会社は「専門家等による医学的・科学的な検証が行われているものの、それ以外については現時点で明らかにできるものはない」と答えるに止まった。

## 聴力判定基準の見直しが実現 今年度定期医学適性検査から実施

本部は、5月1日、定期医学適正検査における動力車乗務員の聴力判定基準の見直しについて、会社から説明を受けた。

内容は、今年6月1日(定期医学適性検査時)から、1回目の検査で医学適性検査種別第1種の基準に満たなかった場合は、医学適性検査種別第2種の基準により再検査を実施するというもの。

今回の見直しは、長年に亘る交運労協やJ R連合、関係省庁に対する要請行動に加え、会社との協議の結果実現できたものであり、引き続き、J R九州の責任組合として、労働者の先頭に立って諸課題解決に取り組むこととする。

なお、説明内容は以下のとおり。

### <説明内容>

1. 列車又は車両を操縦する者に係る定期医学適性検査における聴器の検査方法を、一部変更する。
2. 変更内容  
医学適性検査種別第1種の基準(運従コード1)に満たない場合は、医学適性検査種別第2種(運従コード2)の基準により検査を実施する。
3. 実施期日  
平成25年6月1日(平成25年度定期医学適性検査より適用)
4. その他  
臨時医学適性検査(新規養成時等)については、現行の判定基準を適用するが、既に動力車操縦免許を所持している者が受検する場合は、その都度判断する。

新入社員のみなさん  
ご入社おめでとうございます!  
私たちはJ R九州労組です



新入社員の皆さん入社おめでとうございます。私たちは皆さんの入社を心待ちにしておりました。これから、J R九州で社会人としてスタートした皆さんは、「期待」や「不安」など様々な思いを抱きながら過ごされることと思います。特に、職場で困ったことがあったときには、「労働組合」が大切な役割を果たしています。残念ながら、J R九州には複数の「労働組合」がありますが、その中でも働く社員とご家族の幸せ、及び会社の経営を支えているのは、我々「J R九州労組」だけです。私たち「J R九州労組」は、J R九州で働く90%以上の社員(約8,100人)が加入している「労働組合」です。J R九州で働く社員とご家族の幸せや生活の向上には、皆さんの加入が必要不可欠です。皆さんの加入で、J R九州を更に飛躍・発展させましょう。

092-472-7950  
http://www.jr-krwu.org  
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目3-23 安田三井不動産ビル5階  
九州旅客鉄道労働組合 (J R九州労組)

J R連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」第8回総会

# 高木義明会長(長崎1区)を再任 新たに野間健衆議院議員(鹿児島3区)が加入



ワークは国の重要な基幹インフラとしての位置付けが、いっそう高まっている」との認識を示したうえで、JRが抱える政策課題の実現をはじめとするJR連合運動の推進に向けて、21世紀の鉄道を考える議員フォーラム所属議員が一丸となって支援していく決意を表明した。

4月23日、東京都内でJR連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」第8回総会が開かれ、会長に高木義明衆議院議員(長崎1区)が再任されるとともに、JR九州労組が推薦した野間健衆議院議員(鹿児島3区)をはじめとする3名の新規加入が承認された。(写真Ⅱ)

また、JR連合を代表して坪井会長は、東日本大震災からの復旧・復興対策、鉄道・運輸機構の特例業務勘定を活用したJR三島会社・JR貨物への経営支援策、税制特例措置の延長等に向けた議員各位の支援に謝意を述べるとともに、国鉄改革の残された課題解決に向けて全力で取り組み決意を表明し、JR連合運動への理解と協力を要請した。

J R連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」(九州選出国會議員)

衆/参	氏名	年齢	政党	回数	選挙区	備考
衆	原口 一博	53	民主	6	佐賀1区	
衆	高木 義明	67	民主	8	長崎1区	国会議員懇談会会長
衆	野間 健	54	無所属	1	鹿児島3区	
参	岩本 司	48	民主	2	福岡県	国会議員懇談会幹事
参	大久保 勉	52	民主	2	福岡県	
参	松野 信夫	61	民主	1	熊本県	

任期満了に伴う湧水町議會議員選挙は、4月14日に投票され、吉松地区分会(吉松運輸センター)所属で、組織内公認候補の橋元義嗣氏(無新)が初当選を果たし、JR九州労組議員団に新たな議員が誕生した。(写真右Ⅱ)



## 湧水町議會議員選挙 橋元義嗣氏が初当選!!

選挙戦は、定数12に対して現職7、元職1、新人5の13人が立候補。少数激戦となったものの、地元後援会を中心に退職者連絡会、鹿児島地本が一体となった戦いを展開し826票を獲得。初陣ながら見事3位で当選した。

橋元氏は17日、上野鹿児島地本委員長とともに本部を訪れ、当選を報告。「厳しい選挙戦であったが、身に余る826票をいただき当選することができた。今後は、地域とJRの橋渡し役として頑張っていきたい」と決意を述べた。



## 第12回写真撮影会 徳永光博さん(鹿児島)が最優秀賞

JR九州労組は4月7・8日の両日、北九州市で第12回写真撮影会を開き、徳永光博さん(鹿児島)が昨年優秀賞の雪辱を果たし、最優秀賞に輝いた。(写真Ⅱ)

撮影会には、九州各地から17人が参加。前日からの爆弾低気圧の影響であいにくの天気となったものの、「門司港レトロ」をテーマに撮影した作品の中から1人2作品を出展し、参加者全員の投票で入賞作品を決定した。

1回目の投票で入賞作品が決まらず、上位8作品による決戦投票の結果、徳永さんが最優秀賞、山口浩司さん(福岡)が優秀賞、金居利行さん(福岡)が佳作を受賞。今回特別に設けた福岡地本委員長賞には、作品に門司港駅が写っていた金居さんが佳作とのダブル受賞を果たした。

最優秀賞の徳永さんは「最優秀賞を受賞できたのは、人物写真を好む参加者が多かったからではないか。皆さんの投票に感謝したい」と話していた。結果は次の通り(敬称略)。最優秀賞Ⅱ徳永光博(鹿児島)「ファミリーLOVE」▽優秀賞Ⅱ山口浩司(福岡)「日曜日の午後」▽佳作Ⅱ金居利行(福岡)「31階からの風景」



## 分会を訪ねて

### ⑧佐世保駅連合分会

## J R採用・P S組合員7割強 入替えも激しく対応に苦慮

- ◎ 執行委員長 豊増 悟司
- ◎ 組織数 39名
- ◎ (組織率86・7%)
- ◎ 活動内容 佐世保駅連合分会は、武雄温泉駅、早岐駅、佐世保駅で働く組合員で構成されており、JR採用・PS組合員が7割を占める若い分会です。分会執行委員会も全てJR採用・PS組合員で構成されています。

また、駅の特情から若い組合員の入替えが激しく役員への対応で手一杯であり、分会大会は毎年開いていないものの、執行委員会はなかなか開けていない状況です。しかし、署名・カンパの取り組みでは、役員が手分けして組合員に手渡しや声かけを行い、集約率は概ね100%を達成しています。また、毎年6月には分会独自の歓迎会を開催し交流を深めています。さらに、これまで佐世保地区の総対話集会は早岐のみでの開催でしたが、勤務の都合上佐世保駅のPS組合員がどうしても参加できず、佐世保での開催を求めたところ、第2次総対話集会で実現しました。その結果、参加率も大幅に向上し、一定の成果があったと思います。

役員経験が浅く活動に苦慮していますが、職場間の連携を深めるとともに、他の分会の取り組みも参考にして頑張ります。